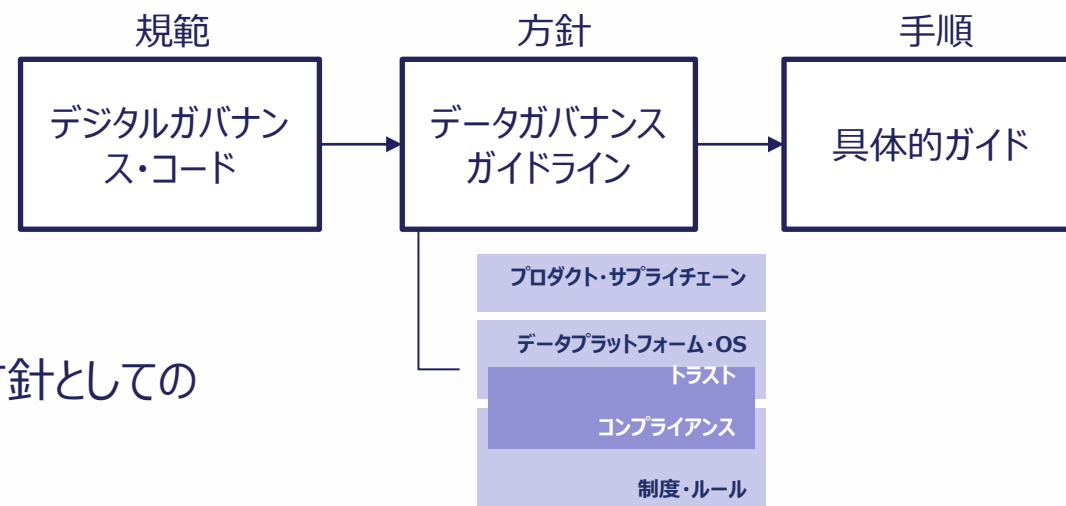


議論のポイント

1. データガバナンスガイド骨子の検討

1. 背景

- デジタル技術を活用した企業価値向上のための規範として「デジタルガバナンス・コード」の改訂を経産省が開始。
- 国際データガバナンスのガイドラインを国際データガバナンスアドバイザリー委員会にてデジタル庁が策定を予定。
- 規範としての「デジタルガバナンス・コード」、より具体化された方針としての「データガバナンス・ガイド」として、連携することを現在検討中



2. 主な検討事項

- 現在検討中の「データガバナンスガイドライン(案)」の目次案を確認いただき、内容の過不足や記述に関する懸念点などを議論いただきたい。

3. 参考資料・その他

- 「データガバナンス・ガイドライン(案)」の目次案(非公開)
- 資料11「データガバナンス・ガイドラインの整備について」

2.GIF関連事業の確認

2-1.GIF準拠ルールの確認

1. 背景

- デジタル庁ではGIFを用いたデータ標準の実装を進めていくために、まずは政府情報システムの調達時の要件定義における推奨事項を明確化することを掲げている。
- 現状、システムの調達仕様書にGIFの準拠を求めること自体は可能だが、実際には何をもって準拠というのかの定義がなされていない。
- GIFの準拠ルールを明確化することで、政府情報システムだけではなく、行政を中心としたさまざまなシステム構築の要件として活用を可能としたい。

2. 主な検討事項

- WGにて検討した「GIF準拠ルール(案)」について確認。
- 準拠ルール(案)のポイント：
 - GIFが定義する、データの値の形式(コアデータパーツ)、データの構造(コアデータモデル)に着目
 - これら(形式と構造)に対して、対象システムのデータがどのようなレベルで合致しているのかを評価する項目と手段

3. 参考資料・その他

- 資料3「GIF準拠ルール(案)」

2.GIF関連事業の確認

2-2.GIFコアデータモデル(個人・法人)の確認

1. 背景

- 現在GIFでは社会の様々な場面で登場する個人や法人、住所や連絡先などの基礎的なデータモデルをコアデータモデルとして公開している。
- 既にいくつかの指摘が内外から寄せられており、項目や定義を追加削除するとともに記載レベルを統一し、より使いやすくする必要がある。
- 先進国のデータモデルも更新が図られており、インタオペラビリティをとる必要がある。

2. 主な検討事項

- WGにて検討した「コアデータモデル(個人・法人)」の改訂案について確認。
- コアデータモデル改訂案のポイント：
 - データ項目を基礎項目と拡張項目に分離、基礎項目はデータ設計に必ず組込むべき項目、拡張項目は用途に応じて任意に追加する項目とした。
 - また、基礎項目については、データの利用用途に応じてデータ設計への組込を必須とする項目のパターンを設定した

3. 参考資料・その他

- 資料4「コアデータモデル(個人・法人)(案)」

2.GIF関連事業の確認

2-3.GIFとIMIの今後の整備方針の確認

1. 背景

- GIFはデータモデル検討の際にIMIを辞書的に参照して利用しているが、明確な関係性を持っていない。
- このため、GIFとIMIで定義のずれ(ex.「GIFの個人」と「IMIの人型」など)が発生しており、利用者の混乱が生じかねない。
- GIFにとってのIMIの位置づけを明確にするとともに、IMIが持つ相互運用性をGIFで活用可能としたい。

2. 主な検討事項

- WGにて検討した「GIFとIMIの位置づけ(案)」の確認。
- 確認ポイント
 - IMIのコア語彙からコアデータモデル用の中間語彙を作成し、GIFはその中間語彙を参照する形とする
 - これにより、GIFとIMIの関係性を明確化させるとともに、利用者が意識しなくても「実はデータはIMIでつながっている」を実現
 - コア語彙の英語化により、GIFの基軸となる英語用語名との整合を強める
 - ->IMI3としてGIFを含めたデータ相互運用性向上のための情報発信基地として機能を再定義し、ドメイン名も変更する」

3. 参考資料・その他

- 資料5「GIFとIMIの位置づけ(案)」

3.コード・コード一覧と公開方法の確認

1. 背景

- 以前政府CIOポータルより公開されていた、コード・コード一覧(Excel表)について、現在はGIFの情報として公開されている。
- GIFからの公開以降、一覧のメンテナンスが行われておらず、情報が陳腐化している。
- コード・コード一覧の定期的なメンテナンスと、わかりやすい公開が必要となっている。

2. 主な検討事項

- IPAにて整備したコード・コード一覧(Excel表)の整備状況の確認。
- コード・コード一覧の公開方法についての確認。
 - GIFとしてコード・コード一覧(Excel)の公開は継続
 - コード・コード一覧の検索を可能とする公開をIMIサイトから実施

3. 参考資料・その他

- 資料6「コード・コード一覧」
- GIFとIMIの公開イメージ(次ページ)

3.コード・コード一覧と公開方法の確認

◆ GIF GitHub公開イメージ

hase-ryo-digital-agency-jp READMEを追加

Name	Last commit message	Last commit date
..		
docx	READMEを追加	2 years ago
md	最終修正	2 years ago
491-2_コード_コード一覧_202012.xlsx	docxが古いものがあつたので最新化	2 years ago
491-3-1_POIコード表.xlsx	docxが古いものがあつたので最新化	2 years ago
README.md	READMEを追加	2 years ago

README.md

政府相互運用性フレームワーク(GIF) 490 その他

GIF推進にコード一覧、提供するサービスのカタログ設計の他、有益なルールやFAQを確認できます。

- [491-1_コード_サービスカタログ](#)
- [491-2_コード_コード一覧_202012.xlsx](#)
- [491-3_コード_POIコード](#)
 - [491-3-1_POIコード表.xlsx](#)
- [492-1_ルール_GIF推進に有益なルール等](#)
- [499_GIF_FAQ220331](#)

◆ IMI公開イメージ



情報連携に不可欠な基本情報やツールを提供するサイトです

政府相互運用性フレームワーク(GIF) 491-2 コード コード一覧

参考:政府相互運用性フレームワーク(GIF)について

キーワード検索 検索

703 件中 1 ~ 20 表示

マイナンバー	分類: 個人	公表組織名: 総務省@ja	データ形式:
説明: @ja			
年齢コード	分類: 年齢	公表組織名: 総務省統計局@ja	データ形式: xls
説明: 総務省統計局@ja			
年齢階級コード	分類: 年齢	公表組織名: 独立行政法人労働政策研究・研修機構@ja	データ形式: pdf
説明: 独立行政法人労働政策研究・研修機構@ja			
年齢制限コード	分類: 年齢	公表組織名: 厚生労働省職業安定局@ja	データ形式: pdf
説明: 厚生労働省労働局@ja			
性別コード (ISO 5218)	分類: 性別	公表組織名: ISO@ja	データ形式: pdf
説明: @ja			

4. 国際データ語彙マッピングのスキームと 実施方法の確認

1. 背景

- 欧州・米国など諸外国ではベースレジストリの整備や、そのデータの相互運用性の確保に必要なコア語彙の整備が完了しつつある。
- 日本とそれら諸外国のデータの相互運用性を確保するためには、コア語彙レベルで用語マッピングが必要
- 日米欧のマッピングを考える際には、日本(英字以外の文字を使う国)固有の課題があることから、マッピングについては日本が主導する必要性が高い。
 - 文字表現に漢字/かな/ローマ字など多様な表現が存在する

2. 主な検討事項

- 語彙マッピングの課題の確認。
- 日米欧の語彙マッピングについての進め方の確認。
 - 優先順位 個人・法人 > 連絡先 > 土地・施設・建物 > その他
 - コア語彙の英語化

3. 参考資料・その他

- 資料7「Core Data Model Mapping Project 2」

5.各種活動の状況について

5-1.ワンスオンリー・データマチュリティ・APIガイド・他

1. 背景

- 日本では「デジタル手続法」でワンスオンリーの推進等が謳われているが、組織の幹部層(経営層や行政の局長など)がワンスオンリーやその実現に必要なデータマチュリティの醸成に関する知識や意識が低い。
- 組織の幹部層への啓蒙と、合わせて実行組織への具体的な実現方法等に関する情報提供が必要。
- また、実行組織に対する情報提供については、技術の進化に伴う内容の更新が必要。

2. 主な検討事項

- 「ワンスオンリー入門ガイド」(8月公開)の報告。
- データマチュリティ啓発資料としてのリーフレット「経営にデータを使うことのススメ」(6月公開)の報告。
- 「API導入実践ガイドブック」「APIテクニカルガイドブック」の更新(9月公開予定;右図参照)の報告。
- 人材育成を含み、今後必要な活動の検討。

3. 参考資料・その他

- 資料8「ワンスオンリー入門ガイド」
- 資料9「経営にデータを使うことのススメ」

Name	Last commit message	Last commit date
..		
461_文字環境導入実践ガイドブック.docx	誤字修正や変更履歴の更新	last year
462_マスターデータ等基本データ導入実践ガイドブ...	ディレクトリ構成の変更 Wordをdocx配下とした	2 years ago
463-1_コード (分類体系) 導入実践ガイドブック.docx	ディレクトリ構成の変更 Wordをdocx配下とした	2 years ago
464-1_API導入実践ガイドブック.docx	ディレクトリ構成の変更 Wordをdocx配下とした	2 years ago
464-2_APIテクニカルガイドブック.docx	ディレクトリ構成の変更 Wordをdocx配下とした	2 years ago
465-1_データマネジメント実践ガイドブック (導入...	ドキュメント日付を更新	last year

5.各種活動の状況について

5-2.関係団体等との連携状況

1. 背景

- データ環境を推進するためには、様々な組織と連携して役割を分担しながら推進する必要がある。
- DSA(一社データ推進協議会)とMoUを結び、国内データスペースの構築や国際データ連携に関する事業協力は継続中。
- 東大越塚研究室と、人材育成に関する連携を開始。
- GIF適用支援実施候補として以下の組織と連携中。
 - 子ども家庭庁(母子手帳のデータ整備に関する支援依頼)
 - 国立印刷局(行政データスペース構築運営に関する支援依頼)
 - gBizINFO支援(ワンスオンリーの取組促進)
 - 防災科研

2. 主な検討事項

- 連携が必要な組織やその内容についての検討。

3. 参考資料・その他

- 特になし

5. 各種活動の状況について

5-3. ツールの提供

1. 背景

- データ環境の整備に当たり、GIFの適用促進や、データの相互運用性を高めるためのツールの整備が必要
- GIFの適用促進のために、以前IMIが提供していたIMIコンポーネントツール(データ正規化やデータ補完ツール)をGIF用に改修し提供を予定。
- また、GIF準拠を確認するための準拠確認ツールの提供を予定。
- データの相互運用性の観点では、データ辞書整備の第一弾としてIMIの語彙と法令用語のマッチングを検討したデータ辞書の提供を予定。
- また、SIPの成果である統制語彙作成支援ツールをIMI向けに改修し、簡易データマッピングツールとして提供を行うことを検討中。

2. 主な検討事項

- 提供ツールの確認。
- 今後必要になるツールの検討。

3. 参考資料・その他

- 資料10「提供予定ツール等の概要」

IPA